※ 内閣府資料

資料２-１

地方創生推進交付金（内閣府地方創生推進事務局）

令和２年度予算額　１,０００億円

（令和元年度予算額　１,０００億円）

事業概要・目的

〇第２期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の初年度における地方創生のより一層の推進に向けた取組を支援します。

①地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援

②ＫＰＩの設定とＰＤＣＡサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援

③地域再生法に基づく法律補助の交付金とし、安定的な制度・運用を確保

具体的な「成果目標(KPI)」の設定 ⇄ 「PDCAサイクル」の確立

※本交付金のうち50億円については、地方大学・産業創生法に基づく交付金として執行

事業イメージ・具体例

【対象事業】

①先駆性のある取組及び先駆的・優良事例の横展開

・官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、中核的人材の確保・育成

例）しごと創生、観光振興、地域商社、スポーツ・健康まちづくり、生涯活躍のまち、働き方改革、小さな拠点、商店街活性化　等

②わくわく地方生活実現政策パッケージ（移住・起業・就業支援）

・東京圏からのＵＩＪターンの促進及び地方の担い手不足対策

例）地域の中核的存在である中小企業等への就業に伴う移住、地域における社会的課題の解決に取り組む起業、現在職に就いていない女性、高齢者等の新規就業支援　等

【手続き】

〇地方公共団体は、対象事業に係る地域再生計画（概ね５年程度）を作成し、内閣総理大臣が認定します。

	交付上限額（国費）	申請上限件数
都道府県	先駆3.0億円　横展開1.0億円	原則９事業（うち広域連携３事業）
中枢中核都市	先駆2.5億円　横展開0.85億円	原則７事業（うち広域連携２事業）
市町村	先駆2.0億円　横展開0.7億円	原則５事業（うち広域連携１事業）

資金の流れ

国 → 交付金（１/２） → 都道府県 市町村

（１/２の地方負担については、地方財政措置を講じます）

令和２年度からの主な運用改善

①Society5.0を推進するための全国的なモデルとなる取組を支援するSociety5.0タイプの新設（交付上限額(国費)3.0億円、申請上限件数の枠外）

②複数年度にわたる施設整備事業の円滑化（本交付金のうち30億円を地方創生拠点整備交付金として措置）

③移住支援事業の要件緩和（対象者・対象企業の拡大）

資料2－2

地方創生推進交付金事業の重要業績評価指標（KPI）の達成状況

no	総合戦略関連分野	認定地域再生計画の名称	交付対象事業名	事業期間	事業概要	交付金額（千円）2016年度（H28年度）交付決定額／実績額	2017年度（H29年度）交付決定額／実績額	2018年度（H30年度）交付決定額／実績額	2019年度（R元年度）交付決定額／実績額	2020年度（R2年度）交付決定額／実績額	重要業績評価指標（KPI）名称	単位	当初値（事業開始時）	2016年度（H28年度）（H29.3時点）目標値／目標値(H28増分)／実績値／実績値(H28増分)	2017年度（H29年度）（H30.3時点）目標値／目標値(H29増分)／実績値／実績値(H29増分)	2018年度（H30年度）（H31.3時点）目標値／目標値(H30増分)／実績値／実績値(H30増分)	2019年度（R元年度）（R2.3時点）目標値／目標値(R元増分)／実績値／実績値(R元増分)	2020年度（R2年度）（R3.3時点）目標値／目標値(R2増分)／実績値／実績値(R2増分)	2021年度（R3年度）（R4.3時点）目標値／目標値(R3増分)／実績値／実績値(R3増分)	2022年度（R4年度）（R5.3時点）目標値／目標値(R4増分)／実績値／実績値(R4増分)	2023年度（R5年度）（R6.3時点）目標値／目標値(R5増分)／実績値／実績値(R5増分)	2024年度（R6年度）（R7.3時点）目標値／目標値(R6増分)／実績値／実績値(R6増分)	増分の累計／目標値(増分累計)／実績値(増分累計)	達成度合い 事業開始から2020年度まで（事業開始からR2年度まで（R3.3時点）） 目標値(R2増分まで累計)／実績値(R2増分まで累計)	目標値(R2増分まで累計)に対する実績値(R2増分まで累計)の達成度合い	（目標値未達の場合のみ）目標未達理由	左で「①外的要因」を選択した場合、その内容	左の具体的な内容	地方創生への効果（自己評価）	今後の事業展開
1	①	やわらかBiz（IT×クリエイティブ×若者・女性）創出事業	やわらかBiz（IT×クリエイティブ×若者・女性）創出事業	H28－R2	デジタルコンテンツ産業の振興や新事業創出に取り組んできたことにより、佐賀市を中心にIT産業やクリエイティブ産業などの「やわらかBiz」の集積が進展している。 本事業は、さらなる若年層の定着及び新事業創出に繋げるため、事業者間の「相互交流」の促進、資金調達の多様化・経営支援に取り組む。 （構成事業） ・さがラボ構想推進事業費（地方創生推進交付金）【産業企画課】 ・やわらかBiz創出事業費（地方創生推進交付金）【産業企画課】 ・デザイン思考普及推進事業費（地方創生推進交付金）【産業企画課】	5,681	20,339	30,995	36,091	31,796	KPI① 当事業によるIT・クリエイティブ産業における新規雇用創出数	人	0	0	2	5	17	53						＋ 53	＋ 53	④目標値の達成は5割未満	③その他			多くが事業構築中であり新たに雇用できる状況にないため、現実の雇用にはまだつながっていないが、大手との協業や各種アワード受賞等の例もでてきており、今後大きく成長する企業も複数ある。	②地方創生に相当程度効果があった	⑤事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））
														＋ 0	＋ 2	＋ 3	＋ 12	＋ 36														
														0	7	7	10	18						＋ 18	＋ 18							
														＋ 0	＋ 7	＋ 0	＋ 3	＋ 8														
											KPI② 当事業による創出されたIT・クリエイティブ領域における新事業の売上高	千円	0	0	30,000	76,600	245,650	750,000						＋ 750,000	＋ 750,000	④目標値の達成は5割未満	③その他			多くが事業構築中であり売上げを計上できる状況にないため、現実の売上にはまだつながっていないが、大手との協業や各種アワード受賞等の例もでてきており、今後大きく成長する企業も複数ある。		
														＋ 0	＋ 30,000	＋ 46,600	＋ 169,050	＋ 504,350														
														0	0	4,285	60,469	152,018						＋ 152,018	＋ 152,018							
						5,681	17,150	27,642	33,177	24,473				＋ 0	＋ 0	＋ 4,285	＋ 56,184	＋ 91,549														
											KPI③ 当事業で支援した資金調達案件のうち調達に成功した延べ件数	件	0	0	8	20	34	50						＋ 50	＋ 50	①目標値を達成					
														＋ 0	＋ 8	＋ 12	＋ 14	＋ 16														
														0	3	14	31	53						＋ 53	＋ 53							
														＋ 0	＋ 3	＋ 11	＋ 17	＋ 22														
2	①・②	「農」を中心とした人・仕事・地域・都市と農村との循環づくり事業	「農」を中心とした人・仕事・地域・都市と農村との循環づくり事業	H28－H30	農業を中心とした人・仕事・地域・都市と農村との循環づくりにより、様々な交流を促進し、中山間地等の地域の活性化を図る。 特に県外の意欲ある若者や移住・定住・就農を希望している学生や社会人等をターゲットに、佐賀県の農業を知って体験してもらうことをきっかけとして、佐賀県における就農者を育てる。 （構成事業） ・さが農村ビジネス創出事業費【農政企画課】 ・さが農村ビジネスサポート事業費【農政企画課】 ・九州山口農商工連携6次産業化推進事業費【農政企画課】 ・地域で育てる新規就農者総合対策事業費【農産課】 ・佐賀段階「農」の担い手育成プログラム【農産課】 ・トレーニングファーム整備推進事業費【農産課】	3,148	60,446	64,989			KPI① 本事業に関連して確保した新規就農者数	人	124	299	474	654	834	1,014						＋ 890	＋ 890	②目標値の7割以上達成	③その他			JA・行政・生産部会等の合意形成、栽培・経営技術に係る指導者の設置、住居や農地の確保等、それぞれの地域で解決すべき課題が多く、新規就農者数は想定よりも伸び悩んだため。	③地方創生に効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
														＋ 175	＋ 175	＋ 180	＋ 180	＋ 180														
														227	388	560	726	886						＋ 762	＋ 762							
														＋ 103	＋ 161	＋ 172	＋ 166	＋ 160														
											KPI② インターンシップ等に参加する首都圏学生等	人	0	5	20	35	50	65						＋ 65	＋ 65	③目標値の5割以上達成	①外的要因	①自然災害等	令和2年度は、従来実施してきた首都圏等とのインターンシップの受入れが、コロナウイルス感染症の影響により中止としたため。		
														＋ 5	＋ 15	＋ 15	＋ 15	＋ 15														
														11	20	27	35	35						＋ 35	＋ 35							
						2,220	53,808	55,486						＋ 11	＋ 9	＋ 7	＋ 8	＋ 0														
											KPI③ KPI①のうち、佐賀県へ移住・就農する者	人	0	0	4	8	12	16						＋ 16	＋ 16	①目標値を達成					
														＋ 0	＋ 4	＋ 4	＋ 4	＋ 4														
														0	14	29	43	71						＋ 71	＋ 71							
														＋ 0	＋ 14	＋ 15	＋ 14	＋ 28														
3	①・②	観光とスポーツを核とした「稼げる観光産業」創出プロジェクト	観光とスポーツを核とした「稼げる観光産業」創出プロジェクト【長崎県連携事業】	H28－R2	H28に日本遺産に認定された「日本の磁器のふるさと肥前～百花繚乱のやきもの散歩～」のストーリーや焼き物文化をはじめとする地域の豊かな地域資源を活用し、地域の主体的・継続的な取組に繋がるコンテンツや新たな目玉事業の構築を進め、広域的な周遊対策や地域の活性化を推進する。 （構成事業） ・長崎県連携事業費（地方創生推進交付金）【観光課】 ・日本遺産「肥前窯業圏」登録推進・情報発信事業費（地方創生推進交付金）【文化課】 ・観光連盟補助（長崎県連携事業費）【観光課】	0	32,565	32,500	29,600	29,600	KPI① 延べ宿泊者数一人あたり観光消費額【長崎県】	千円／人	24	24	25	25	25	26						＋ 2	＋ 2	令和2年度の実績について、長崎県が取りまとめ中のため、未記入				③地方創生に効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
														＋ 0	＋ 1	＋ 0	＋ 0	＋ 1														
														25	25	25	25	25						＋ 1	＋ 1							
														＋ 1	＋ 0	＋ 0	＋ 0															
											KPI② 観光客の延べ宿泊者数【長崎県】	万人	813	889	917	945	975	1,004						＋ 191	＋ 191							
														＋ 76	＋ 28	＋ 28	＋ 30	＋ 29														
														795	817	836	821	821						＋ 8	＋ 8							
														▲ 18	＋ 22	＋ 19	▲ 15															
						0	31,484	32,500	29,600	28,999	KPI③ 宿泊施設の従業員数（正社員数）【長崎県】	人	4,845	5,200	5,400	5,600	5,800	6,000						＋ 1,155	＋ 1,155							
														＋ 355	＋ 200	＋ 200	＋ 200	＋ 200														
														4,531	4,427	4,340	4,202	4,202						▲ 643	▲ 643							
														▲ 314	▲ 104	▲ 87	▲ 138															

地方創生推進交付金事業の重要業績評価指標（KPI）の達成状況

no	総合戦略関連分野	認定地域再生計画の名称	交付対象事業名	事業期間	事業概要	交付金額（千円）2016年度（H28年度）交付決定額／実績額	2017年度（H29年度）交付決定額／実績額	2018年度（H30年度）交付決定額／実績額	2019年度（R元年度）交付決定額／実績額	2020年度（R2年度）交付決定額／実績額	重要業績評価指標（KPI）名称		単位	当初値（事業開始時）	2016年度（H28年度）（H29.3時点）目標値／目標値(H28増分)／実績値／実績値(H28増分)	2017年度（H29年度）（H30.3時点）目標値／目標値(H29増分)／実績値／実績値(H29増分)	2018年度（H30年度）（H31.3時点）目標値／目標値(H30増分)／実績値／実績値(H30増分)	2019年度（R元年度）（R2.3時点）目標値／目標値(R元増分)／実績値／実績値(R元増分)	2020年度（R2年度）（R3.3時点）目標値／目標値(R2増分)／実績値／実績値(R2増分)	2021年度（R3年度）（R4.3時点）目標値／目標値(R3増分)／実績値／実績値(R3増分)	2022年度（R4年度）（R5.3時点）目標値／目標値(R4増分)／実績値／実績値(R4増分)	2023年度（R5年度）（R6.3時点）目標値／目標値(R5増分)／実績値／実績値(R5増分)	2024年度（R6年度）（R7.3時点）目標値／目標値(R6増分)／実績値／実績値(R6増分)	増分の累計 目標値(増分累計)／実績値(増分累計)	達成度合い 事業開始から2020年度まで（事業開始からR2年度まで）（R3.3時点）目標値(R2増分まで累計)／実績値(R2増分まで累計)	目標値(R2増分まで累計)に対する実績値(R2増分まで累計)の達成度合い	（目標値未達の場合のみ）目標未達理由	左で「①外的要因」を選択した場合、その内容	左の具体的な内容	地方創生への効果（自己評価）	今後の事業展開
4	①	さが藻類産業推進プロジェクト～広域連携バリューチェーン構築推進事業～	さが藻類産業推進プロジェクト～新資源開拓による地域産業イノベーション～【佐賀市連携事業】	H29 ｜ H33	産官学金等の連携により二酸化炭素超高圧抽出技術を確立・事業化し、原料生産から原料化・商品化まで県内で対応できる体制を整備する。 原料化・商品化にあたっては、佐賀県（工業技術センター）・大学・JCCが支援し、唐津市が整備する地域商社やJCC等が販路開拓といった出口支援を担う。 （構成事業） ・原料抽出機能整備調査検討事業費（地方創生推進交付金）【ものづくり産業課・コスメティック構想推進室】		2,000	105	107	110	KPI①	藻類を活用した新規事業件数【佐賀市】	件	0		1 ＋1	11 ＋10	26 ＋15	41 ＋15	61 ＋20				＋61	＋41	④目標値の達成は5割未満	②計画不適切		既に商品開発している企業以外にも、新たに商品開発に取り組む企業が出てきており、新規参入に向けた研究開発の支援は行っているものの、企業数が少なく、新たな雇用の大幅な増加にまではつながっていない。 また、藻類研究についても、大量培養技術等が企業の製品化に結びつくケースも生まれ、件数としては増加傾向にあるものの目標値とは乖離している。 以上のような状況において、新規事業件数や商品開発件数が目標を下回っており、それに伴い新規就業者数や製品出荷額についても目標を下回っている。	③地方創生に効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
															1 ＋1	3 ＋2	4 ＋1	7 ＋3	－ －				＋7	＋7							
											KPI②	協会活動による商品開発件数【佐賀市】	件	0		3 ＋3	18 ＋15	38 ＋20	58 ＋20	88 ＋30				＋88	＋58	④目標値の達成は5割未満	②計画不適切						
															0 ＋0	8 ＋8	10 ＋2	12 ＋2	－ －				＋12	＋12							
							1,413	0	5	0	KPI③	藻類産業による新規就業者数【佐賀市】	人	0		20 ＋20	50 ＋30	85 ＋35	120 ＋35	160 ＋40				＋160	＋120	④目標値の達成は5割未満	②計画不適切						
															10 ＋10	18 ＋8	20 ＋2	24 ＋4	－ －				＋24	＋24							
											KPI④	佐賀市産藻類由来製品出荷額【佐賀市】	千円	0		700,000 ＋700,000	1,000,000 ＋300,000	1,500,000 ＋500,000	2,500,000 ＋1,000,000	5,000,000 ＋2,500,000				＋5,000,000	＋2,500,000	④目標値の達成は5割未満	②計画不適切						
															0 ＋0	25,000 ＋25,000	51,000 ＋26,000	73,000 ＋22,000	－ －				＋73,000	＋73,000							
5	④	自発の地域創生プロジェクト～さが「宝」の地域づくり～	自発の地域創生プロジェクト～さが「宝」の地域づくり～	H30 ｜ H32	自らの課題を自ら解決する地域とし、各地域固有の地域資源の魅力を生かした新しいチャレンジが生まれ実践される環境を作るため、自発の地域づくり支援、地域づくり活動の活性化、新たな地域づくりの取組の創出、地域のリーダーの育成等に取り組む。 （構成事業） ・自発の地域づくりさがブラッシュアップ事業費（推進交付金）【さが創生推進課】 ・地域活性化人材ネットワーク九州モデル構築事業費（推進交付金）【さが創生推進課】 ・さが地育（地域×子育て）推進事業費（推進交付金）【さが創生推進課】 ・SAGAローカリストアカデミー事業費【さが創生推進課】 ・それぞれの中山間チャレンジ事業費（地方創生推進交付金）【農政企画課】			26,117	26,638	19,154	KPI①	自発の地域づくりを進め、各地域の課題解決に向かって主体的な取組を継続している地域数	地域	40			50 ＋10	60 ＋10	60 ＋0				＋20	＋20	①目標値を達成				①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
																49 ＋9	61 ＋12	61 ＋0				＋21	＋21							
								21,859	22,204	12,214	KPI②	中山間地域における農業・農地を守る取組や農業所得を向上させる取組を県と市町との連携により支援し、取組を継続している地域数	地域	0			5 ＋5	10 ＋5	15 ＋5				＋15	＋15	①目標値を達成							
																5 ＋5	14 ＋9	18 ＋4				＋18	＋18							
6	①・④	ワーク・ライフ・バランス実現！佐賀県「働き方改革」プロジェクト	ワーク・ライフ・バランス実現！佐賀県「働き方改革」プロジェクト	H30 ｜ H32	長時間労働の是正により、誰もが働きやすい職場環境を実現し、女性の参画促進の重要性・必要性についての理解の促進と女性自身の意識・行動改革を図り、仕事と家庭・地域生活のバランスの取れたライフスタイルが実現できるように支援する。 （構成事業） ・ワーク・ライフ・バランス推進事業費（地方創生推進交付金）【産業人材課】 ・仕事と子育ての両立支援推進事業費（地方創生推進交付金）【産業人材課】 ・佐賀県子育て世代就活サポート事業費（地方創生推進交付金）【産業人材課】 ・「働きたいけん」（体験）応援事業費（地方創生推進交付金）【産業人材課】 ・マイナス1歳からのイクカジ推進事業費（地方創生推進交付金）【男女参画・女性の活躍推進課】 ・女性の大活躍推進佐賀県会議（地方創生推進交付金）【男女参画・女性の活躍推進課】			32,519	30,422	31,031	KPI①	法定以上の仕事と育児の両立支援制度の導入事業所	事業所	60			70 ＋10	80 ＋10	90 ＋10				＋30	＋30	②目標値の7割以上達成	①外的要因	①自然災害等	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業所訪問ができない期間があったため。	①地方創生に非常に効果的であった	⑤事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））
																71 ＋11	80 ＋9	86 ＋6				＋26	＋26							
								32,026	29,891	21,544	KPI②	女性の大活躍推進佐賀県会議会員登録数	事業所	190			210 ＋20	210 ＋0	210 ＋0				＋20	＋20	①目標値を達成							
																300 ＋110	313 ＋13	320 ＋7				＋130	＋130							
7	①	海外市場における「SAGAブランド」の輸出促進プロジェクト	海外市場における「SAGAブランド」の輸出促進プロジェクト事業	H30 ｜ H32	高品質の県産品の販路を海外に拡大していくため、県内の農林水産物の生産者や食品加工事業者の輸出の取組を支援する。 海外市場における佐賀ブランドの確立、新たな国・地域への販路開拓、佐賀の酒のブランド確立に取り組む。 （構成事業） ・県産品販売支援事業費（地方創生推進交付金）【流通・通商課】			19,501	29,672	53,954	KPI①	日本酒の輸出量	リットル	124,550			130,000 ＋5,450	135,000 ＋5,000	140,000 ＋5,000				＋15,450	＋15,450	①目標値を達成				①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
																167,162 ＋42,612	172,458 ＋5,296	195,632 ＋23,174				＋71,082	＋71,082							
											KPI②	牛肉の輸出量	トン	53.6			55.0 ＋1.4	60.0 ＋5.0	65.0 ＋5.0				＋11.4	＋11	①目標値を達成							
																57.2 ＋3.6	68.4 ＋11.2	66.8 ▲1.6				＋13.2	＋13							
								17,219	24,250	41,104	KPI③	加工食品の輸出業者数	社	26			27 ＋1	30 ＋3	33 ＋3				＋7	＋7	①目標値を達成							
																38 ＋12	41 ＋3	54 ＋13				＋28	＋28							

地方創生推進交付金事業の重要業績評価指標（KPI）の達成状況

no	総合戦略関連分野	認定地域再生計画の名称	交付対象事業名	事業期間	事業概要	交付金額（千円）2016年度（H28年度）交付決定額／実績額	2017年度（H29年度）交付決定額／実績額	2018年度（H30年度）交付決定額／実績額	2019年度（R元年度）交付決定額／実績額	2020年度（R2年度）交付決定額／実績額	重要業績評価指標（KPI）名称		単位	当初値（事業開始時）	2016年度（H28年度）（H29.3時点）目標値／目標値(H28増分)／実績値／実績値(H28増分)	2017年度（H29年度）（H30.3時点）目標値／目標値(H29増分)／実績値／実績値(H29増分)	2018年度（H30年度）（H31.3時点）目標値／目標値(H30増分)／実績値／実績値(H30増分)	2019年度（R元年度）（R2.3時点）目標値／目標値(R元増分)／実績値／実績値(R元増分)	2020年度（R2年度）（R3.3時点）目標値／目標値(R2増分)／実績値／実績値(R2増分)	2021年度（R3年度）（R4.3時点）目標値／目標値(R3増分)／実績値／実績値(R3増分)	2022年度（R4年度）（R5.3時点）目標値／目標値(R4増分)／実績値／実績値(R4増分)	2023年度（R5年度）（R6.3時点）目標値／目標値(R5増分)／実績値／実績値(R5増分)	2024年度（R6年度）（R7.3時点）目標値／目標値(R6増分)／実績値／実績値(R6増分)	増分の累計／目標値(増分累計)／実績値(増分累計)	達成度合い 事業開始から2020年度まで（事業開始からR2年度まで）（R3.3時点）目標値(R2増分まで累計)／実績値(R2増分まで累計)	目標値(R2増分まで累計)に対する実績値(R2増分まで累計)の達成度合い	（目標値未達の場合のみ）目標未達理由	左で「①外的要因」を選択した場合、その内容	左の具体的な内容	地方創生への効果（自己評価）	今後の事業展開
8	①	佐賀県産業におけるAI･IoT等活用の推進計画	佐賀県AI･IoT等活用推進事業	H30 ｜ H32	県内企業の継続的な発展を促していくため、国内外でAI･IoT等の活用をリードするトップ級の教師人材や県内の機関・団体と連携し、県内企業の経営者及び実務管理者の意識改革を図るとともに、AI･IoT等のテクノロジーを活用できる人材の育成及び新たなサービス等の創出に向けた支援に取り組む。 （構成事業） ・AI･IoT活用推進事業費（推進交付金）【産業企画課】 ・AI･IoT活用推進事業費（投資）【産業企画課】			27,214	34,092	33,818	KPI①	新規のAI･IoT等の導入又は実証事業創出件数	件	0			5 ＋5	20 ＋15	50 ＋30					＋50	＋50	①目標値を達成				①地方創生に非常に効果的であった	②事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる）
																	25 ＋25	66 ＋41	137 ＋71					＋137	＋137							
								19,192	30,617	33,583	KPI②	AI･IoT等の導入をけん引する企業内人材育成のための研修受講者の延数	人	0			80 ＋80	180 ＋100	300 ＋120					＋300	＋300	①目標値を達成						
																	189 ＋189	526 ＋337	1,532 ＋1,006					＋1,532	＋1,532							
9	①	新しい時代を創るSAGA農林水産業イノベーションプロジェクト	新しい時代を創るSAGA農林水産業イノベーションプロジェクト	H31 ｜ H33	AIやIoT等の最新技術を活用して農林水産業の生産性を飛躍的に向上させる技術の検討・開発等を行うとともに、農林水産物やそれらを利用した加工品の開発等の農村ビジネスの取組を進める。 また、農林水産業の魅力のPRや、県内各地域における就業体験等の実施を支援することなどにより、県内外から人を呼び込み、新規就業者を確保・育成する。 （構成事業） ・さが園芸生産888億円推進事業費、同（特定政策推進費）【園芸課】 ・佐賀段階 米・麦・大豆競争力強化対策事業費【農産課】 ・さが林業スマート化実証事業費【林業課】 ・サルボウ採苗器供給体制整備推進費【水産課】〔有明海再生サルボウ復活大作戦〕 ・磯根資源造成対策事業費【水産課】 ・さが農村イノベーション推進事業費、同（特定政策推進費）【農政企画課】 ・さが農村ビジネス整備支援事業費【農政企画課】 ・さが食・農・むらサポーター推進事業費【農政企画課】 ・トレーニングファーム整備推進事業費【農産課】 ・佐賀段階「農」担い手育成プログラム【農産課】 ・林業担い手育成確保対策事業費【林業課】 ・新規漁業就業者支援事業費【水産課】				100,000	100,000	KPI①	新たに農林水産業に就業した人数	人	190				400 ＋210 391 ＋201	610 ＋210 573 ＋182	820 ＋210 － －					＋630 ＋383	＋420 ＋383	②目標値の7割以上達成	①外的要因	②景気の動向・経済情勢の変化	コロナ禍により景気が厳しい状況にあったことから、一次産業への就業が見直されつつあるものの、先行きが見通せないことから雇用が伸びず、目標未達成となった。	③地方創生に効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
									83,635	71,929	KPI②	農村ビジネスの新たな取組件数	件	0				25 ＋25 38 ＋38	50 ＋25 80 ＋42	75 ＋25 － －					＋75 ＋80	＋50 ＋80	①目標値を達成						
10	①	SAGA県産品ブランド強化推進プロジェクト	SAGA県産品ブランド強化推進プロジェクト	H31 ｜ H33	JAさが、さが県産品流通デザイン公社など関係機関と連携して、2018年（平成30年）にデビューしたいちご新品種など県産品のブランド化を推進するため、県内および首都圏など都市部を中心とした県外へのプロモーションを実施する。 （構成事業） ・県産農産物新ブランド戦略推進事業費【流通・通商課】〔いちごさん〕 ・コネクトさが推進事業費【産業企画課】〔世界料理学会〕〔ｱｼﾞｱﾍﾞｽﾄﾚｽﾄﾗﾝ50〕 ・県産品販売支援事業費（特定政策推進費）【流通・通商課】〔BAR saga〕 ・情報発信プロジェクト推進費【広報広聴課】〔サガプライズ！〕				92,637	34,411	KPI①	東京都中央卸売市場におけるいちご主要産地（福岡県）の平均単価との対比	%	86				88 ＋2 93 ＋7	92 ＋4 96 ＋3	97 ＋5 － －					＋11 ＋10	＋6 ＋10	①目標値を達成					①事業の継続（計画通りに事業を継続する）	
											KPI②	支援事業で対象とした商品のターゲット（国内シェフ）との新たな取引件数（新規顧客契約件数）	件	0				20 ＋20 10 ＋10	27 ＋7 17 ＋7	42 ＋15 － －					＋42 ＋17	＋27 ＋17	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	⑦その他	新型コロナウイルス感染拡大により県外からトップシェフを招へいすることが難しかったため			
									54,800	32,762	KPI③	県内酒蔵の純米酒課税移出数量	キロリットル	1,577				1,647 ＋70 1,525 ▲52	1,717 ＋70 1,399 ▲126	1,787 ＋70 － －					＋210 ▲178	＋140 ▲178	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	⑦その他	新型コロナウイルス感染拡大により飲食店需要が大幅に減少したこと等			
											KPI④	輸出に適した商品とアジアベストレストラン50に参加したターゲット（海外シェフ）との新たな取引件数（新規顧客契約件数）	件	0				30 ＋30 0 ＋0	40 ＋10 0 ＋0	50 ＋10 － －					＋50 ＋0	＋40 ＋0	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	⑦その他	新型コロナウイルス感染拡大によりアジアベストレストラン50等の開催が中止となり、海外シェフとの交流の機会が失われてしまったため			

地方創生推進交付金事業の重要業績評価指標（KPI）の達成状況

no	総合戦略関連分野	認定地域再生計画の名称	交付対象事業名	事業期間	事業概要	交付金額（千円）2016年度（H28年度）交付決定額／実績額	2017年度（H29年度）交付決定額／実績額	2018年度（H30年度）交付決定額／実績額	2019年度（R元年度）交付決定額／実績額	2020年度（R2年度）交付決定額／実績額	重要業績評価指標（KPI）名称		単位	当初値（事業開始時）	2016年度（H28年度）（H29.3時点）目標値／目標値(H28増分)／実績値／実績値(H28増分)	2017年度（H29年度）（H30.3時点）目標値／目標値(H29増分)／実績値／実績値(H29増分)	2018年度（H30年度）（H31.3時点）目標値／目標値(H30増分)／実績値／実績値(H30増分)	2019年度（R元年度）（R2.3時点）目標値／目標値(R元増分)／実績値／実績値(R元増分)	2020年度（R2年度）（R3.3時点）目標値／目標値(R2増分)／実績値／実績値(R2増分)	2021年度（R3年度）（R4.3時点）目標値／目標値(R3増分)／実績値／実績値(R3増分)	2022年度（R4年度）（R5.3時点）目標値／目標値(R4増分)／実績値／実績値(R4増分)	2023年度（R5年度）（R6.3時点）目標値／目標値(R5増分)／実績値／実績値(R5増分)	2024年度（R6年度）（R7.3時点）目標値／目標値(R6増分)／実績値／実績値(R6増分)	増分の累計／目標値(増分累計)／実績値(増分累計)	達成度合い 事業開始から2020年度まで（事業開始からR2年度まで）（R3.3時点）目標値(R2増分まで累計)／実績値(R2増分まで累計)	目標値(R2増分まで累計)に対する実績値(R2増分まで累計)の達成度合い	（目標値未達の場合のみ）目標未達理由	左で「①外的要因」を選択した場合、その内容	左の具体的な内容	地方創生への効果（自己評価）	今後の事業展開
11	①	SAGAものづくり強靭化プロジェクト	SAGAものづくり強靭化プロジェクト	H31 ｜ H33	新技術・新製品開発から生産性改善・高度化、販路拡大までの一貫した支援や、熟練技能者による講習会の開催等による人材育成、ものづくり産業のイメージアップ等に取り組む。 （構成事業） ・現場力向上支援事業費【ものづくり産業課】 ・さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業費【ものづくり産業課】 〔販路拡大、生産性改善・高度化〕 ・ものづくり競技会技術力向上事業費【ものづくり産業課】 ・さがものづくり道場運営事業費【ものづくり産業課】 ・ものづくりの祭典開催費【ものづくり産業課】〔SAGAものスゴフェスタ開催事業〕 ・基礎科学理解促進費【ものづくり産業課】〔SAGAものスゴフェスタ開催事業〕 ・ファクトリーブランディング事業費【ものづくり産業課】 ・保護者向け県内ものづくり企業見学事業費【ものづくり産業課】 ・商工業対策推進活動事業費【ものづくり産業課】 ・ものづくり強靭化プロジェクトフォローアップ事業費【ものづくり産業課】				68,915	79,349	KPI①	製造品出荷額	億円	17,908.0				18,355.7 ＋ 447.7 20,568.2 ＋ 2,660.2	18,803.4 ＋ 447.7 20,639 ＋ 71.2	19,251.1 ＋ 447.7 － －				＋ 1,343.1 ＋ 2,731.4	＋ 895 ＋ 2,731	①目標値を達成				①地方創生に非常に効果的であった	②事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる）
									61,341	54,562	KPI②	新技術・新製品開発支援による事業化件数	件	0				2 ＋ 2 8 ＋ 8	4 ＋ 2 16 ＋ 8	6 ＋ 2 － －				＋ 6 ＋ 16	＋ 4 ＋ 16	①目標値を達成					
											KPI③	人材確保を課題とする企業の割合	%	77				73 ▲ 4 40 ▲ 37	68 ▲ 5 25 ▲ 15	63 ▲ 5 － －				▲ 14 ▲ 52	▲ 9 ▲ 52	①目標値を達成					
12	②	SクラスのSAGAくらし・しごと創出プロジェクト	SクラスのSAGAくらし・しごと創出プロジェクト	H31 ｜ H33	UJIターンによる移住・就職希望者に対してワンストップ相談窓口の設置や各種就労支援策を一体的に実施することにより、移住促進と産業人材の確保に取り組む。 （構成事業） ・移住促進事業費（地方創生先行型交付金継続事業）【さが創生推進課・移住支援室】 ・移住促進事業費（政策推進）【さが創生推進課・移住支援室】 ・採用力向上推進事業費【産業人材課】 ・Uターン就職促進事業費【産業人材課】 ・産業人材ステーション事業費【産業人材課】 ・九州・山口ふるさと若者就職促進事業費【産業人材課】 ・高校生県内就職促進事業費【産業人材課】 ・若年者就職支援事業費【産業人材課】				100,000	100,000	KPI①	他都道府県からの移住者数	人	640				655 ＋ 15 691 ＋ 51	670 ＋ 15 647 ▲ 44	685 ＋ 15 － －				＋ 45 ＋ 7	＋ 30 ＋ 7	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	⑦その他	新型コロナの影響により、移住相談件数は前年度よりも増加したが、実際の移住者数の増加という形では十分効果が発現しなかった。また、県及び市町の移住支援制度を利用した移住者数をKPIとして設定しているところだが、令和2年度に市町の移住支援制度の一部が廃止されたため。	①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
											KPI②	県内高校生の県内就職率	%	58.4				59.0 ＋ 0.6 60.8 ＋ 2.4	59.5 ＋ 0.5 65 ＋ 4.6	60.0 ＋ 0.5 － －				＋ 1.6 ＋ 7.0	＋ 1 ＋ 7	①目標値を達成					
									96,926	90,996	KPI③	産業人材ステーション事業におけるUJIターン就職者数	人	0				23 ＋ 23 23 ＋ 23	30 ＋ 7 41 ＋ 18	40 ＋ 10 － －				＋ 40 ＋ 41	＋ 30 ＋ 41	①目標値を達成					
											KPI④	採用計画を達成した企業の割合	%	36.4				40.0 ＋ 3.6 41.6 ＋ 5.2	45.0 ＋ 5.0 47.7 ＋ 6.1	50.0 ＋ 5.0 － －				＋ 13.6 ＋ 11.3	＋ 8.6 ＋ 11.3	①目標値を達成					
13	④	東京オリパラを契機とした、多様性ある街の賑わい創出プロジェクト	東京オリパラを契機とした、多様性ある街の賑わい創出プロジェクト	H31 ｜ H33	東京オリンピック、パラリンピック開催及び本県におけるホストタウン登録（オランダ、ニュージーランド、フィジー、タイ）を念頭に、外国人・障がい者との人的交流や文化・芸術に触れる機会の提供に関する取組と、外国人や障がい者等をサポートする取組により、多様性のある街の賑わいの創出を実現する。 （構成事業） ・東京オリパラホストタウン交流事業費【国際課】 ・東京オリパラ文化プログラム推進事業費【文化課】 ・創造的プラットフォーム形成事業費【国際課】〔海外クリエイター（主にオランダ）〕 ・佐賀さいこうアート推進事業費【文化課】〔オランダ音楽交流分〕 ・佐賀さいこうアート推進事業費【文化課】〔オランダ音楽交流分〕 ・佐賀さいこうアート推進事業費【文化課】〔障害者アート分〕 ・キャッシュレス決済普及事業費【情報課・情報化推進室】 ・さがすたいる推進事業費【県民協働課】 ・世界遺産活用推進費【肥前さが幕末維新博事務局】				67,688	57,798	KPI①	佐賀県内の外国人観光入込客数	千人	721				739 ＋ 18 1,260 ＋ 539	779 ＋ 40 96 ▲ 1,164	840 ＋ 61 － －				＋ 119 ▲ 625	＋ 58 ▲ 625	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	①自然災害等	新型コロナ感染症により、外国人入観光客数が減少したため	②地方創生に相当程度効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
									50,742	50,663	KPI②	さがすたいる倶楽部会員数	件	700				850 ＋ 150 859 ＋ 159	1,000 ＋ 150 943 ＋ 84	1,150 ＋ 150 － －				＋ 450 ＋ 243	＋ 300 ＋ 243	②目標値の7割以上達成	①外的要因	①自然災害等	新型コロナ感染症対策のため、新規会員店舗開拓のための営業活動自粛		

地方創生推進交付金事業の重要業績評価指標（KPI）の達成状況

no	総合戦略関連分野	認定地域再生計画の名称	交付対象事業名	事業期間	事業概要	交付金額（千円） 2016年度（H28年度） 交付決定額 実績額	2017年度（H29年度） 交付決定額 実績額	2018年度（H30年度） 交付決定額 実績額	2019年度（R元年度） 交付決定額 実績額	2020年度（R2年度） 交付決定額 実績額	重要業績評価指標（KPI） 名称	単位	当初値（事業開始時）	2016年度（H28年度）（H29.3時点） 目標値 目標値(H28増分) 実績値 実績値(H28増分)	2017年度（H29年度）（H30.3時点） 目標値 目標値(H29増分) 実績値 実績値(H29増分)	2018年度（H30年度）（H31.3時点） 目標値 目標値(H30増分) 実績値 実績値(H30増分)	2019年度（R元年度）（R2.3時点） 目標値 目標値(R元増分) 実績値 実績値(R元増分)	2020年度（R2年度）（R3.3時点） 目標値 目標値(R2増分) 実績値 実績値(R2増分)	2021年度（R3年度）（R4.3時点） 目標値 目標値(R3増分) 実績値 実績値(R3増分)	2022年度（R4年度）（R5.3時点） 目標値 目標値(R4増分) 実績値 実績値(R4増分)	2023年度（R5年度）（R6.3時点） 目標値 目標値(R5増分) 実績値 実績値(R5増分)	2024年度（R6年度）（R7.3時点） 目標値 目標値(R6増分) 実績値 実績値(R6増分)	増分の累計 目標値(増分累計) 実績値(増分累計)	達成度合い 事業開始から2020年度まで（事業開始からR2年度まで）（R3.3時点） 目標値(R2増分まで累計) 実績値(R2増分まで累計)	目標値(R2増分まで累計)に対する実績値(R2増分まで累計)の達成度合い	（目標値未達の場合のみ） 目標未達理由	左で「①外的要因」を選択した場合、その内容	左の具体的な内容	地方創生への効果（自己評価）	今後の事業展開
14	②	佐賀県地方創生移住・地域活性化等起業支援事業	佐賀県地方創生移住支援事業 佐賀県地域活性化等起業支援事業	H31 ｜ H36	将来にわたって持続可能な地域を維持していくためには、安定した雇用の創出や移住の促進等の取組により、当県への新しいひとの流れを創出する必要がある。 このため、「佐賀県地方創生移住支援事業」に取り組み、Uターン就職希望の求職者と県内企業等とのマッチングをサポートするサイトを運用し、移住者には移住支援金を支給することにより移住を後押しする。 また、「佐賀県地域活性化等起業支援事業」に取り組み、地域課題の解決を目的とした社会的事業を起業する者に対して起業支援金の給付や起業に伴う伴走支援を行う。 （構成事業） ・移住支援事業費補助（地方創生推進交付金）【さが創生推進課】 ・マッチング支援事業費（地方創生推進交付金）【産業人材課】 ・地域活性化等起業支援事業費補助（地方創生推進交付金）【さが創生推進課】				28,020	39,003	KPI① 本移住支援事業に基づく移住就業者数	人	0				26 ＋ 26 0 ＋ 0	83 ＋ 57 2 ＋ 2	140 ＋ 57 － －	197 ＋ 57 － －	254 ＋ 57 － －	311 ＋ 57 － －	＋ 311 ＋ 2	＋ 83 ＋ 2	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	⑦その他	移住支援金の要件が厳しく、合致する移住者が少ないため。特に移住元の要件が23区限定となっており、そこで対象外となる移住者が多い。	③地方創生に効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
											KPI② 本移住支援事業に基づく移住起業者数	人	0				3 ＋ 3 0 ＋ 0	6 ＋ 3 1 ＋ 1	9 ＋ 3 － －	12 ＋ 3 － －	15 ＋ 3 － －	18 ＋ 3 － －	＋ 18 ＋ 1	＋ 6 ＋ 1	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	⑦その他	事業実施2年目であり、東京圏における本制度の周知に努めたが、移住元の要件や就業の要件に合致する移住者が少なかったため。		
									8,727	12,690	KPI③ 本起業支援事業に基づく起業者数	人	0				5 ＋ 5 3 ＋ 3	15 ＋ 10 10 ＋ 7	25 ＋ 10 － －	35 ＋ 10 － －	45 ＋ 10 － －	55 ＋ 10 － －	＋ 55 ＋ 10	＋ 15 ＋ 10	③目標値の5割以上達成	③その他		年度当初から起業に関する課題の把握や情報収集を行うなど、県、市町関係部署、CSO団体などへの周知や商工会連合会、商工会議所、地域産業支援センターなど関係団体との連携に加え、首都圏を対象としたオンラインセミナーなどの広報活動を行った。結果、15件の申し込みがあったものの、採択の結果、採択件数が7件にとどまったことによる。		
											KPI④ マッチングサイトに新たに掲載された求人数	件	0				160 ＋ 160 257 ＋ 257	360 ＋ 200 423 ＋ 166	560 ＋ 200 － －	760 ＋ 200 － －	960 ＋ 200 － －	1,160 ＋ 200 － －	＋ 1,160 ＋ 423	＋ 360 ＋ 423	①目標値を達成					
15	①	SAGA伝統的地場産業活性化支援プロジェクト	SAGA伝統的地場産業活性化支援プロジェクト	R2 ｜ R4	陶磁器や家具をはじめとする伝統的地場産品については、時代のトレンドを捉えた 顧客に選ばれる商品を持続的に生み出すため、公設試験研究機関等の活用促進や顧客視点に基づく新商品開発などへの支援を行う。 また、大都市圏の百貨店等を中心に更なる販路開拓・販売拡大・定着を図るため、専門家を活用するなどして事業者の商品企画力等を高めるための支援を行う。 さらに、海外におけるブランドの維持・向上を図るとともに、事業者の輸出への関心を高めつつ、現地ニーズに合った商品開発など輸出に向けた事業者等の取組を支援する。 （構成事業） ・陶磁器アジア市場開拓スタートアップ事業【流通・貿易課】 ・陶磁器バイヤー招聘事業【流通・貿易課】 ・産地再生プロモーション事業【流通・貿易課】 ・諸富家具世界へさあいこう応援事業【流通・貿易課】 ・伝統工芸品等プロモーション事業【流通・貿易課】 ・さが伝統産業等創造支援事業【流通・貿易課】 ・オリパラ大会さが県産品との出逢い創出事業【流通・貿易課】					46,055	KPI① 伊万里・有田焼の輸出額	百万円	200				210 ＋ 10 181 ▲ 19	220 ＋ 10 － －	230 ＋ 10 － －			＋ 30 ▲ 19	＋ 10 ▲ 19	④目標値の達成は5割未満	③その他		海外展示会出展等での取引は一時的な場合もあり、安定した販路獲得のために継続的な取組が必要	③地方創生に効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
										28,815	KPI② 伝統的地場産品の新商品開発支援により取引に至った事業者の割合	%	64				72 ＋ 8 97 ＋ 33	80 ＋ 8 － －	88 ＋ 8 － －			＋ 24 ＋ 33	＋ 8 ＋ 33	①目標値を達成					
											KPI③ クリエイター等と地域資源の結びつきや地域資源の掛け合わせで生み出された新たなビジネス件数	件	30				33 ＋ 3 47 ＋ 17	36 ＋ 3 － －	39 ＋ 3 － －			＋ 9 ＋ 17	＋ 3 ＋ 17	①目標値を達成					
											KPI④ 伝統的地場産品について、意欲的な事業者グループが行う、商品開発・販路開拓等新たな取組への支援件数	件	312				333 ＋ 21 342 ＋ 30	350 ＋ 17 － －	367 ＋ 17 － －			＋ 55 ＋ 30	＋ 21 ＋ 30	①目標値を達成					

地方創生推進交付金事業の重要業績評価指標（KPI）の達成状況

no	総合戦略関連分野	認定地域再生計画の名称	交付対象事業名	事業期間	事業概要	交付金額（千円） 2016年度（H28年度） 交付決定額 実績額	2017年度（H29年度） 交付決定額 実績額	2018年度（H30年度） 交付決定額 実績額	2019年度（R元年度） 交付決定額 実績額	2020年度（R2年度） 交付決定額 実績額	重要業績評価指標（KPI） 名称		単位	当初値（事業開始時）	2016年度（H28年度）（H29.3時点） 目標値 目標値(H28増分) 実績値 実績値(H28増分)	2017年度（H29年度）（H30.3時点） 目標値 目標値(H29増分) 実績値 実績値(H29増分)	2018年度（H30年度）（H31.3時点） 目標値 目標値(H30増分) 実績値 実績値(H30増分)	2019年度（R元年度）（R2.3時点） 目標値 目標値(R元増分) 実績値 実績値(R元増分)	2020年度（R2年度）（R3.3時点） 目標値 目標値(R2増分) 実績値 実績値(R2増分)	2021年度（R3年度）（R4.3時点） 目標値 目標値(R3増分) 実績値 実績値(R3増分)	2022年度（R4年度）（R5.3時点） 目標値 目標値(R4増分) 実績値 実績値(R4増分)	2023年度（R5年度）（R6.3時点） 目標値 目標値(R5増分) 実績値 実績値(R5増分)	2024年度（R6年度）（R7.3時点） 目標値 目標値(R6増分) 実績値 実績値(R6増分)	増分の累計 目標値(増分累計) 実績値(増分累計)	達成度合い 事業開始から2020年度まで（事業開始からR2年度まで）（R3.3時点） 目標値(R2増分まで累計) 実績値(R2増分まで累計)	目標値(R2増分まで累計)に対する実績値(R2増分まで累計)の達成度合い	（目標値未達の場合のみ） 目標未達理由	左で「①外的要因」を選択した場合、その内容	左の具体的な内容	地方創生への効果（自己評価）	今後の事業展開
16	②	さが山を大切にする・山の活性化プロジェクト	さが山を大切にする・山の活性化プロジェクト	R2 ｜ R4	中山間地域等に暮らす住民が安心して長く住み続けられるよう、「山を守る」、「山で営む」、「山の魅力を伝える」の3つの視点で、山の自然環境・生活環境の保全、山での生業支援、山の魅力や取組に関する情報発信に取り組み、県民の豊かな暮らしを守る「山」を未来に引き継ぐ。 （構成事業） ・くらしのモビリティ確保推進事業【さが創生推進課】 ・森川海人っプロジェクト推進事業【森林整備課】 ・地域の"たから"をつなぐ事業【さが創生推進課】 ・中山間・棚田地域活性化モデル推進事業【農政企画課、農山漁村課】 ・山のネットワーク構築事業【さが創生推進課】					14,845	KPI①	山林面積の割合が25%以上の市町における人口減少の抑制	人	▲ 3,861					▲ 3,811 ＋ 50 ▲ 8,370 ▲ 4,509	▲ 3,761 ＋ 50 － －	▲ 3,711 ＋ 50 － －			＋ 150 ▲ 4,509	＋ 50 ▲ 4,509	④目標値の達成は5割未満	③その他		自然増減数・社会増減数ともに減少しておりKPI①の達成には至っていない。また、人口減少が顕著な中山間地域を含む「山」においては、山のネットワーク構築事業での「山の会議（仮）」の開催を通し、少子高齢化及び過疎化に伴う地域機持の負担感の増加や地域課題を地域住民自らが話し合う機会の減少、地域の魅力を地域の人が知らないといった課題があり、本プロジェクトを通じて改善を図っているものの、成果があれるまでには至っていない。	③地方創生に効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
											KPI②	中山間・棚田地域の活性化に向けた新たな取組を行った地域数	地域	0					2 ＋ 2 2 ＋ 2	4 ＋ 2 － －	6 ＋ 2 － －			＋ 6 ＋ 2	＋ 2 ＋ 2	①目標値を達成					
										11,766	KPI③	地域交通の課題解決、運行の効率化、利便性向上のため、AI運行の導入に取り組む市町・団体数	市町・団体	1					3 ＋ 2 2 ＋ 1	5 ＋ 2 － －	7 ＋ 2 － －			＋ 6 ＋ 1	＋ 2 ＋ 1	③目標値の5割以上達成	①外的要因	⑦その他	新型コロナウイルスの影響で路線バスやコミュニティバスの利用者が減ったこと等に伴い、各市町において既存の地域交通全体にかかる経費の増額が見込まれたため、AI運行システムのような新たな取組への投資が見送られたことが大きな要因である。		
											KPI④	森川海人っプロジェクトの山を大切にすることへの理解促進を図るイベントへの参加者数	人	1,620					3,520 ＋ 1,900 2,435 ＋ 815	5,570 ＋ 2,050 － －	7,770 ＋ 2,200 － －			＋ 6,150 ＋ 815	＋ 1,900 ＋ 815	③目標値の5割以上達成	①外的要因	⑦その他	新型コロナウィルスの影響でイベントの集客数が減少したため。		
17	②	SAGAスポーツピラミッド推進プロジェクト	SAGAスポーツピラミッド推進プロジェクト	R2 ｜ R4	スポーツの「する、育てる、観る、支える」の各分野に好循環を生み出すため、「人材育成体制の構築」「社会人アスリートの就職支援」「スポーツとビジネスの融合」のそれぞれの分野に応じた事業を展開する。 （構成事業） ・SSPトップアスリート育成好循環創出事業【SSP推進グループ】 ・野球育成・強化プロジェクト事業【SSP推進グループ】					42,644	KPI①	県外からの流入アスリート数	人	37					52 ＋ 15 71 ＋ 34	92 ＋ 40 － －	152 ＋ 60 － －	182 ＋ 30 － －	212 ＋ 30 － －	＋ 175 ＋ 34	＋ 15 ＋ 34	①目標値を達成				①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
											KPI②	SSP事業提携企業数	社	40					60 ＋ 20 68 ＋ 28	80 ＋ 20 － －	100 ＋ 20 － －	120 ＋ 20 － －	140 ＋ 20 － －	＋ 100 ＋ 28	＋ 20 ＋ 28	①目標値を達成					
										21,078	KPI③	アスリート雇用エントリー企業数	社	20					25 ＋ 5 49 ＋ 29	30 ＋ 5 － －	40 ＋ 10 － －	50 ＋ 10 － －	60 ＋ 10 － －	＋ 40 ＋ 29	＋ 5 ＋ 29	①目標値を達成					
											KPI④	SSPアスリート認定者数	人	90					95 ＋ 5 123 ＋ 33	100 ＋ 5 － －	105 ＋ 5 － －	110 ＋ 5 － －	115 ＋ 5 － －	＋ 25 ＋ 33	＋ 5 ＋ 33	①目標値を達成					

地方創生推進交付金事業の重要業績評価指標（KPI）の達成状況

no	総合戦略関連分野	認定地域再生計画の名称	交付対象事業名	事業期間	事業概要	交付金額（千円）2016年度（H28年度）交付決定額／実績額	2017年度（H29年度）交付決定額／実績額	2018年度（H30年度）交付決定額／実績額	2019年度（R元年度）交付決定額／実績額	2020年度（R2年度）交付決定額／実績額
18	②	長崎本線沿線地域の魅力づくりと人の流れの創出プロジェクト	長崎本線沿線地域の魅力づくりと人の流れの創出プロジェクト	R2 ｜ R4	長崎本線沿線地域は、「和の真髄が詰まった伝統的な街並み」や「日本酒などの発酵文化」、「海苔やカキ、レンコンやみかんなどの豊富な農水産物」など多様な地域資源を有する地域である。各地域が連携することで魅力ある一体的な観光エリアを形成するため、1年目は交流拠点である肥前浜駅を有する鹿島市において取組を進め、2年目以降は鹿島市をモデルケースとして、他の地域の取組へとつなげる。 （構成事業） ・長崎本線沿線地域振興事業費【交通政策課】 ・新幹線活用推進費【交通政策課】					18,016
										16,167
19	①	プロフェッショナル人材戦略拠点事業	プロフェッショナル人材戦略拠点事業（第2期）	R2 ｜ R4	プロフェッショナル人材戦略マネージャーを配置し、潜在的な成長力を持つ県内中小企業の経営者に対し「攻めの経営」への転換を促しつつ、民間人材ビジネス事業者と連携し、中小企業者と都市部のプロフェッショナル人材とのマッチング支援を行う。 また、『兼業・副業』という、佐賀県では従来ほとんど見られなかった人材活用形態についてのニーズ発掘、マッチング支援等を実施するため、体制を拡充し、当該案件に係る特任マネージャーを配置する。 （構成事業） ・プロフェッショナル人材戦略拠点事業費（地方創生交付金）【産業企画課】					21,355
										20,647
					地方創生推進交付金　計	8,829	115,350	233,940	643,882	752,939
						7,901	103,855	205,924	525,915	573,992

no	名称	単位	当初値（事業開始時）	2016年度（H28年度）（H29.3時点）目標値／目標値(H28増分)／実績値／実績値(H28増分)	2017年度（H29年度）（H30.3時点）目標値／目標値(H29増分)／実績値／実績値(H29増分)	2018年度（H30年度）（H31.3時点）目標値／目標値(H30増分)／実績値／実績値(H30増分)	2019年度（R元年度）（R2.3時点）目標値／目標値(R元増分)／実績値／実績値(R元増分)	2020年度（R2年度）（R3.3時点）目標値／目標値(R2増分)／実績値／実績値(R2増分)	2021年度（R3年度）（R4.3時点）目標値／目標値(R3増分)／実績値／実績値(R3増分)	2022年度（R4年度）（R5.3時点）目標値／目標値(R4増分)／実績値／実績値(R4増分)	2023年度（R5年度）（R6.3時点）目標値／目標値(R5増分)／実績値／実績値(R5増分)	2024年度（R6年度）（R7.3時点）目標値／目標値(R6増分)／実績値／実績値(R6増分)	増分の累計：目標値(増分累計)／実績値(増分累計)	達成度合い 事業開始から2020年度まで（事業開始からR2年度まで）（R3.3時点）：目標値(R2増分まで累計)／実績値(R2増分まで累計)	目標値(R2増分まで累計)に対する実績値(R2増分まで累計)の達成度合い	（目標値未達の場合のみ）目標未達理由	左で「①外的要因」を選択した場合、その内容	左の具体的な内容	地方創生への効果（自己評価）	今後の事業展開
18	KPI① 長崎本線沿線地域（江北町、白石町、鹿島市、太良町）への年間の観光客数	千人	4,954					5,028	5,102	5,176	5,250	5,324							②地方創生に相当程度効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
								＋ 74	＋ 74	＋ 74	＋ 74	＋ 74	＋ 370	＋ 74	①目標値を達成					
								5,267	－	－	－	－								
								＋ 313.2	－	－	－	－	＋ 313	＋ 313						
	KPI② 長崎本線沿線地域（江北町、白石町、鹿島市、太良町）における年間の観光消費額	千円	5,650,664					5,735,414	5,820,164	5,904,914	5,989,664	6,074,414								
								＋ 84,750	＋ 84,750	＋ 84,750	＋ 84,750	＋ 84,750	＋ 423,750	＋ 84,750	①目標値を達成					
								6,821,771	－	－	－	－								
								＋ 1,171,107	－	－	－	－	＋ 1,171,107	＋ 1,171,107						
	KPI③ 体験プログラムの開発支援件数	件	0					5	10	15	20	25								
								＋ 5	＋ 5	＋ 5	＋ 5	＋ 5	＋ 25	＋ 5	①目標値を達成					
								7	－	－	－	－								
								＋ 7	－	－	－	－	＋ 7	＋ 7						
	KPI④ 長崎本線で運行される観光列車の本数	本	6					7	8	9	10	11								
								＋ 1	＋ 1	＋ 1	＋ 1	＋ 1	＋ 5	＋ 1	①目標値を達成					
								20	－	－	－	－								
								＋ 14	－	－	－	－	＋ 14	＋ 14						
19	KPI① プロフェッショナル人材のマッチング件数（副業・兼業含む）	件	114					134	154	174									①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
								＋ 20	＋ 20	＋ 20			＋ 60	＋ 20	①目標値を達成					
								156	－	－										
								＋ 42	－	－			＋ 42	＋ 42						
	KPI② プロフェッショナル人材拠点における相談件数	件	573					693	813	933										
								＋ 120	＋ 120	＋ 120			＋ 360	＋ 120	①目標値を達成					
								778	－	－										
								＋ 205	－	－			＋ 205	＋ 205						
	KPI③ 副業・兼業人材の移動費補助金交付件数	件	0					3	8	13								新型コロナウイルスの感染拡大により、移動を伴う副業・兼業人材の活用が行われにくくなったため。 また、新型コロナウイルスの影響によるテレワークの普及拡大により、移動を伴わない副業・兼業の形が増加したため。		
								＋ 3	＋ 5	＋ 5			＋ 13	＋ 3	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	①自然災害等			
								1	－	－										
								＋ 1	－	－			＋ 1	＋ 1						

【事業効果（自己評価）】			
①地方創生に非常に効果的であった	例）全てのKPIの目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合		8
②地方創生に相当程度効果があった	例）一部のKPIの目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合		3
③地方創生に効果があった	例）KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合		8
④地方創生に対して効果がなかった	例）KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い場合		0
			19

【今後の事業展開】	
①事業の継続（計画通りに事業を継続する）	15
②事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる）	2
③事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った））	0
④事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した））	0
⑤事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））	2
	19

資料2－3

地方創生拠点整備交付金事業の重要業績評価指標（KPI）の達成状況

no	総合戦略関連分野	認定地域再生計画の名称	計画期間	拠点整備交付金交付対象事業名	事業期間	事業概要	H28→H29 交付金額（千円）	H29→H30 交付金額（千円）	H30→H31 交付金額（千円）	R1→R2 交付金額（千円）	重要業績評価指標（KPI） 名称	単位	当初値（申請時）	2016年度（H28年度）（H29.3時点）	2017年度（H29年度）（H30.3時点）	2018年度（H30年度）（H31.3時点）	2019年度（R元年度）（R2.3時点）	2020年度（R2年度）（R3.3時点）	2021年度（R3年度）（R4.3時点）	2022年度（R4年度）（R5.3時点）	2023年度（R5年度）（R6.3時点）	増分の累計	達成度合い 事業開始から2020年度まで（事業開始から R2年度まで）（R3.3時点）	目標値（R2増分まで累計）に対する実績値（R2増分まで累計）の達成度合い	（目標値未達の場合のみ） 目標未達理由	左で「①外的要因」を選択した場合、その内容	左の具体的な内容	地方創生への効果（自己評価）	今後の事業展開
							交付決定額	交付決定額	交付決定額	交付決定額				目標値（H28増分）	目標値（H29増分）	目標値（H30増分）	目標値（R元増分）	目標値（R2増分）	目標値（R3増分）	目標値（R4増分）	目標値（R5増分）	目標値（増分累計）	目標値（R2増分まで累計）						
							実績額	実績額	実績額	実績額				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値（増分累計）	実績値（R2増分まで累計）						
														実績値（H28増分）	実績値（H29増分）	実績値（H30増分）	実績値（R元増分）	実績値（R2増分）	実績値（R3増分）	実績値（R4増分）	実績値（R5増分）								
1	②	行政空間の集客（収益）施設化事業～佐賀県庁・佐賀城公園の賑わい・商い空間化事業～計画	H28 ｜ H32	行政空間の集客（収益）施設化事業～佐賀県庁・佐賀城公園の賑わい・商い空間化事業～計画	H28 ｜ H29	佐賀城周辺の公共空間を「使い手目線」の空間となるようリノベーション（再編集）するため、地下食堂整備事業、佐賀城公園整備事業、岡田三郎助アトリエ増築事業、県庁屋上展望ホール整備事業を実施する。	202,500				KPI① 博物館・美術館・地下食堂・夜の展望ホールの来場者数	万人	37	41	40	50	52	52				＋ 15	＋ 15	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	⑦その他	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、首都圏等の団体旅行等の減少や、イベントが中止になったことによる来場者の減少によるもの	③地方創生に効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
														＋ 4	▲ 1	＋ 10	＋ 2	＋ 0											
														46	27	48	28	18											
														＋ 9	▲ 19	＋ 21	▲ 20	▲ 10				▲ 19	▲ 19						
							200,854				KPI② 移動販売等の参入事業者数	社	0	0	0	1	3	8				＋ 8	＋ 8	②目標値の7割以上達成	①外的要因	①自然災害等	新型コロナウイルス感染症拡大防止による外出自粛要請など		
														＋ 0	＋ 0	＋ 1	＋ 2	＋ 5											
														0	0	2	5	6				＋ 6	＋ 6						
														＋ 0	＋ 0	＋ 2	＋ 3	＋ 1											
											KPI③ 展望ホールの収入	百万円	0.0	4.0	9.0	15.0	21.0	27.0				＋ 27.0	＋ 27.0	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	⑦その他	展望ホールのスロープ設置工事に伴う物販スペースの撤去、新型コロナウイルスの影響		
														＋ 4.0	＋ 5.0	＋ 6.0	＋ 6.0	＋ 6.0											
														1.1	3.3	4.7	27.3	5				＋ 5.2	＋ 5.2						
														＋ 1.1	＋ 2.3	＋ 1.3	＋ 22.6	▲ 22.1											
2	②	観光・地域活動拠点の整備による重伝建地区「肥前浜宿」の観光動線の「面」化推進計画	H28 ｜ H32	観光・地域活動拠点の整備による重伝建地区「肥前浜宿」の観光動線の「面」化推進事業	H28 ｜ H29	佐賀県の西南部に位置する鹿島市の肥前浜宿地区を中心とした観光客の周遊性向上及び地域の担い手であるNPO等の活動の活性化を目的に、佐賀県が事業主体となり、既存施設を活用しながら、地域内外の交流拠点となる施設を整備する。	65,000				KPI① 鹿島酒蔵ツーリズムへの来訪者数	千人／年	70.0	73.5	77.0	80.5	84.0	87.5				＋ 17.5	＋ 17.5	④目標値の達成は5割未満	⑤事業未実施		新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度の酒蔵ツーリズムが中止となったため。	②地方創生に相当程度効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
														＋ 3.5	＋ 3.5	＋ 3.5	＋ 3.5	＋ 3.5											
														80.0	88.0	99.0	0.0	0.0				▲ 70.0	▲ 70						
														＋ 10.0	＋ 8.0	＋ 11.0	▲ 99.0	＋ 0.0											
							61,689				KPI② 鹿島市への観光客数（暦年）	千人／年	3,420.8	3,470.8	3,520.8	3,570.8	3,620.8	3,670.8				＋ 250.0	＋ 250	①目標値を達成					
														＋ 50.0	＋ 50.0	＋ 50.0	＋ 50.0	＋ 50.0											
														3,598.6	3,697.1	3,949.6	4,054.5	4,281.3				＋ 860.5	＋ 860.5						
														＋ 177.8	＋ 98.5	＋ 252.5	＋ 104.9	＋ 226.8											
											KPI③ 鹿島市における観光消費額（暦年）	百万円／年	2,721	2,761	2,801	2,841	2,881	2,921				＋ 200	＋ 200	①目標値を達成					
														＋ 40	＋ 40	＋ 40	＋ 40	＋ 40											
														2,776	2,579	2,858	3,077	3,212				＋ 491	＋ 491						
														＋ 55	▲ 197	＋ 279	＋ 219	＋ 135											
3	①	伊万里港へのポートセールス拠点整備による物流活性化→地域活性化計画	H28 ｜ H32	伊万里港へのポートセールス拠点整備による物流活性化→地域活性化事業	H28 ｜ H29	伊万里港にコンテナヤードセンターを整備し、港湾利用者に対しコンテナヤードを効果的かつ継続的にポートセールスをすることでコンテナ貨物取扱量の増加を図り、また、一般の県民・企業等の見学や視察に対しても当施設を活用して伊万里港の役割や海上輸送等の物流の仕組み等を知ってもらうことにより、伊万里港の振興はもとより、地域経済の活性化を図る。	18,000				KPI① コンテナ貨物取扱に係る経済波及効果	億円	16.48	18.90	19.98	21.60	22.68	24.30				＋ 7.82	＋ 7.82	②目標値の7割以上達成	①外的要因	⑦その他	新型コロナウイルスの影響により衣類・見廻品の輸入や水産品の輸出が減少しているため。	②地方創生に相当程度効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
														＋ 2.42	＋ 1.08	＋ 1.62	＋ 1.08	＋ 1.62											
														19.28	19.42	20.17	19.99	23.09				＋ 6.61	＋ 6.61						
														＋ 2.80	＋ 0.14	＋ 0.75	▲ 0.18	＋ 3.10											
							16,900				KPI② 伊万里港コンテナ貨物取扱個数	個	30,516	35,000	37,000	40,000	42,000	45,000				＋ 14,484	＋ 14,484	②目標値の7割以上達成	①外的要因	⑦その他	新型コロナウイルスの影響により衣類・見廻品の輸入や水産品の輸出が減少しているため。		
														＋ 4,484	＋ 2,000	＋ 3,000	＋ 2,000	＋ 3,000											
														35,710	35,964	37,356	37,021	42,762				＋ 12,246	＋ 12,246						
														＋ 5,194	＋ 254	＋ 1,392	▲ 335	＋ 5,741											
											KPI③ 伊万里港コンテナヤードセンター利用者数	人	0	0	200	250	300	350				＋ 350	＋ 350	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	⑦その他	新型コロナウイルスの影響により視察の使用数が減少しているため。		
														＋ 0	＋ 200	＋ 50	＋ 50	＋ 50											
														0	0	220	126	125				＋ 125	＋ 125						
														＋ 0	＋ 0	＋ 220	▲ 94	▲ 1											
4	②	絶好のロケーションを活かした公営キャンプ場のリニューアル・リブランディング～稼げるキャンプ場を目指して～	H28 ｜ H32	絶好のロケーションを活かした公営キャンプ場のリニューアル・リブランディング～稼げるキャンプ場を目指して～	H28 ｜ H29	民間事業者の企画協力を得ながら、どこにでもあるキャンプ場のイメージから脱却、「九州最強の公営キャンプ場」を目指し、フィールドのリニューアルを行う。	97,854				KPI① キャンプ場利用料収入	百万円	5	5	5	8	11	15				＋ 10	＋ 10	①目標値を達成				①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
														＋ 0	＋ 0	＋ 3	＋ 3	＋ 4											
														4.4	3.8	12.2	29.8	36.0				＋ 31	＋ 31						
														▲ 0.6	▲ 0.7	＋ 8.4	＋ 17.6	＋ 6.2											
							87,852				KPI② キャンプ場利用者数	人	4,215	4,215	4,215	5,000	6,000	7,000				＋ 2,785	＋ 2,785	①目標値を達成					
														＋ 0	＋ 0	＋ 785	＋ 1,000	＋ 1,000											
														4,983	4,283	8,164	18,873	22,335				＋ 18,120	＋ 18,120						
														＋ 768	▲ 700	＋ 3,881	＋ 10,709	＋ 3,462											
5	①・②・④	佐賀県クリエイティブプラットフォーム形成計画	H28 ｜ H32	クリエイティブプラットフォーム交流・発信拠点整備計画	H28 ｜ H29	クリエイターが有田を訪れた際などに地元との交流や情報発信を行い、また、クリエイターの作品や有田焼を、質の高い「食」や「ライフスタイル」と併せて発信していくため、陶磁の里プラザ（有田焼卸団地）の空き店舗をリノベーションし、宿泊施設及びレストランの機能を備えた交流・発信拠点を整備する。	60,555				KPI① 活動拠点を軸に創作活動を行うクリエイターの数	人／年	4	4	6	9	12	12				＋ 8	＋ 8	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	⑦その他	新型コロナウイルス感染症の影響によるクリエイターの受入不可のため	③地方創生に効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
														＋ 0	＋ 2	＋ 3	＋ 3	＋ 0											
														4	6	8	8	0				▲ 4	▲ 4						
														＋ 0	＋ 2	＋ 2	＋ 0	▲ 8											
							56,140				KPI② 交流・発信拠点への宿泊者数	人泊／年	0	0	0	3,400	3,800	4,200				＋ 4,200	＋ 4,200	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	②景気の動向・経済情勢の変化	新型コロナウイルス感染症による休館、全国的な大都市圏の人流抑制のため		
														＋ 0	＋ 0	＋ 3,400	＋ 400	＋ 400											
														0	0	1,494	2,064	1,663				＋ 1,663	＋ 1,663						
														＋ 0	＋ 0	＋ 1,494	＋ 570	▲ 401											
6	①・②・④		H28 ｜ H32	クリエイティブプラットフォーム活動拠点整備計画	H28 ｜ H29	クリエイターレジデンス活動をより効果の高いものにするため、佐賀県窯業技術センターに、創作活動の充実のためクリエイターが活動できる専用のスペースを整備し、事業化を支援するためのサロンを整備及び、開発支援充実のための職員体制整備のための執務室間仕切り工事を行い、クリエイターの活動の拠点を整備する。	15,001				KPI① 活動拠点を軸に創作活動を行うクリエイターの数	人／年	4	4	6	9	12	12				＋ 8	＋ 8	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	⑦その他	新型コロナウイルス感染症の影響によるクリエイターの受入不可	③地方創生に効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
														＋ 0	＋ 2	＋ 3	＋ 3	＋ 0											
														4	6	8	8	0				▲ 4	▲ 4						
														＋ 0	＋ 2	＋ 2	＋ 0	▲ 8											
							14,684				KPI② 交流・発信拠点への宿泊者数	人泊／年	0	0	0	3,400	3,800	4,200				＋ 4,200	＋ 4,200	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	②景気の動向・経済情勢の変化	新型コロナウイルス感染症による休館、全国的な大都市圏の人流抑制		
														＋ 0	＋ 0	＋ 3,400	＋ 400	＋ 400											
														0	0	1,494	2,064	1,663				＋ 1,663	＋ 1,663						
														＋ 0	＋ 0	＋ 1,494	＋ 570	▲ 401											

地方創生拠点整備交付金事業の重要業績評価指標（KPI）の達成状況

no	総合戦略関連分野	認定地域再生計画の名称	計画期間	拠点整備交付金交付対象事業名	事業期間	事業概要	H28→H29 交付金額（千円） 交付決定額 実績額	H29→H30 交付金額（千円） 交付決定額 実績額	H30→H31 交付金額（千円） 交付決定額 実績額	R1→R2 交付金額（千円） 交付決定額 実績額	重要業績評価指標（KPI） 名称	単位	当初値（申請時）	2016年度（H28年度）（H29.3時点） 目標値 目標値(H28増分) 実績値 実績値(H28増分)	2017年度（H29年度）（H30.3時点） 目標値 目標値(H29増分) 実績値 実績値(H29増分)	2018年度（H30年度）（H31.3時点） 目標値 目標値(H30増分) 実績値 実績値(H30増分)	2019年度（R元年度）（R2.3時点） 目標値 目標値(R元増分) 実績値 実績値(R元増分)	2020年度（R2年度）（R3.3時点） 目標値 目標値(R2増分) 実績値 実績値(R2増分)	2021年度（R3年度）（R4.3時点） 目標値 目標値(R3増分) 実績値 実績値(R3増分)	2022年度（R4年度）（R5.3時点） 目標値 目標値(R4増分) 実績値 実績値(R4増分)	2023年度（R5年度）（R6.3時点） 目標値 目標値(R5増分) 実績値 実績値(R5増分)	増分の累計 目標値(増分累計) 実績値(増分累計)	達成度合い 事業開始から2020年度まで（事業開始から R2年度まで）（R3.3時点） 目標値(R2増分まで累計) 実績値(R2増分まで累計)	目標値(R2増分まで累計)に対する実績値(R2増分まで累計)の達成度合い	（目標値未達の場合のみ） 目標未達理由	左で「(①外的要因」を選択した場合、その内容	左の具体的な内容	地方創生への効果（自己評価）	今後の事業展開
7	①・②	「農」を中心とした人・仕事・地域・都市と農村の循環づくり事業	H28 ｜ H32	さが就農・ICT農業開発拠点（みどり地区）整備事業計画	H28 ｜ H29	移住・就農希望者に対し、先進農家や指導者による技術習得から独立自営就農までをサポートし、地域を支える人材を生み出すための「トレーニングファーム」の整備を整備するとともに、「楽しく、かっこよく、稼げる農業」を目指したウェアラブル端末活用技術の開発を行う。	71,449 54,503				KPI①	本事業に関連して確保した新規就農者数	人／年	124	175 ＋ 51 103 ▲ 21	175 ＋ 0 161 ＋ 58	180 ＋ 5 172 ＋ 11	180 ＋ 0 166 ▲ 6	180 ＋ 0 160 ▲ 6				＋ 56 ＋ 36	＋ 56 ＋ 36	③目標値の5割以上達成	③その他			当初見込んでいた当モデルの他地域への横展開については、JA・行政・生産部会等の合意形成、栽培・経営技術に係る指導者の設置、住居や農地の確保等、それぞれの地域で解決すべき課題が多く、新規就農者数は想定よりも伸び悩んだため。	③地方創生に効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
											KPI②	KPI①のうち、この研修拠点で研修し、佐賀へ移住・就農する者	人／年	0	0 ＋ 0 0 ＋ 0	0 ＋ 0 0 ＋ 0	0 ＋ 0 0 ＋ 0	2 ＋ 2 2 ＋ 2	2 ＋ 0 2 ＋ 0				＋ 2 ＋ 2	＋ 2 ＋ 2	①目標値を達成						
											KPI③	ウェアラブル端末を活用した商品開発数	件	0	0 ＋ 0 0 ＋ 0	0 ＋ 0 0 ＋ 0	1 ＋ 1 0 ＋ 0	1 ＋ 0 0 ＋ 0	1 ＋ 0 0 ＋ 0				＋ 1 ＋ 0	＋ 1 ＋ 0	④目標値の達成は5割未満	③その他			令和元年度までウェアラブル端末の活用による開発を進めてきたが、通信不良によるトラブルが多数発生したこととに加え、機器導入のコストが高いことなどから、やむを得ず開発を断念したため。		
8	①	IT農業における世界No．1の実現と他産業への展開	H28 ｜ H32	ICT等の利用による次世代さが農業実現のための整備事業（農業試験研究センター・農業大学校）	H28 ｜ H29	農産物のブランド力強化、省力化、農業経営の安定化のため、ICT等を活用した農業技術の開発から、その教育、普及の様々な場面で効率化と高度化をはかるための整備を行う。これら技術開発は三者連携協定のなかで佐賀大学ならびに株式会社オプティムとの共同研究ですすめていく。	72,359 67,366				KPI①	県内の農業産出額	億円	1,230	1,240 ＋ 10 1,303 ＋ 73	1,245 ＋ 5 1,315 ＋ 12	1,250 ＋ 5 1,311 ▲ 4	1,260 ＋ 10 1,277 ▲ 34	1,270 ＋ 10 1,135 ▲ 142				＋ 40 ▲ 95	＋ 40 ▲ 95	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	①自然災害等	米の不作のため	①地方創生に非常に効果的であった	⑤事業の終了（当初予定通り事業を終了する）
											KPI②	株式会社オプティムの農業以外の部門への展開数（ビジネスモデル）	件	0	0 ＋ 0 0 ＋ 0	1 ＋ 1 1 ＋ 1	1 ＋ 0 2 ＋ 1	2 ＋ 1 2 ＋ 0	3 ＋ 1 4 ＋ 2				＋ 3 ＋ 4	＋ 3 ＋ 4	①目標値を達成						
											KPI③	イチゴの環境制御技術の開発による単位面積当たり収量	kg/a	400	550 ＋ 150 830 ＋ 430	700 ＋ 150 690 ▲ 140	800 ＋ 100 860 ＋ 170	800 ＋ 0 850 ▲ 10	800 ＋ 0 685 ▲ 165				＋ 400 ＋ 285	＋ 400 ＋ 285	②目標値の7割以上達成	①外的要因	⑦その他	高温、病害虫の発生等による収穫期間の短縮		
9	①			ICT等の利用による次世代さが農業実現のための整備事業（果樹試験場）	H28 ｜ H29	ハウスミカンにおいて、炭酸ガス施用等環境制御の効果が的確に判断できる施設と必要な付帯設備を新たに整備するとともに、佐賀大学ならびに株式会社オプティムとの三者連携協定によるAI、IoT技術を活用した樹体の簡易診断法や電力会社や空調企業等と連携して効率的な環境制御方法を検討し、大幅な単収向上を実現する統合環境制御技術を確立する。	29,825 27,929				KPI①	ハウスミカンの環境制御に取り組む生産者数	戸	12	12 ＋ 0 12 ＋ 0	12 ＋ 0 12 ＋ 0	17 ＋ 5 17 ＋ 5	22 ＋ 5 22 ＋ 5	32 ＋ 10 24 ＋ 2				＋ 20 ＋ 12	＋ 20 ＋ 12	③目標値の5割以上達成	①外的要因	⑦その他	技術力、資金力のある農家の導入は順調に進んだが、環境制御技術の習得が必要なこと、また装置の導入経費やランニングコストなど生産経費が増加することにより、技術に関心を持っているが導入には慎重になっている農家が多いため、思ったより実績が伸びなかった。	②地方創生に相当程度効果があった	②事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる）
											KPI②	ハウスミカンの環境制御導入圃におけるハウスミカン出荷量	kg/10a	5,000	5,000 ＋ 0 5,000 ＋ 0	5,000 ＋ 0 5,800 ＋ 800	5,500 ＋ 500 5,600 ▲ 200	6,500 ＋ 1,000 6,700 ＋ 1,100	7,500 ＋ 1,000 7,135 ＋ 435				＋ 2,500 ＋ 2,135	＋ 2,500 ＋ 2,135	②目標値の7割以上達成	①外的要因	⑦その他	極端な気象（梅雨の長期化、夏場の高温乾燥）による着色不良などの生育への影響		
10	①・②	佐賀の強みを生かした「いちご」の所得向上・人材育成プロジェクト	H30 ｜ H34	佐賀の強みを生かした「いちご」の所得向上・人材育成拠点整備事業	H29 ｜ H30	いちご新品種、労働力調整を担うパッケージセンターという佐賀の強みを生かし、生産性革命にもつながるハウス内環境の見える化について県内に普及させる技術員の技術力向上を行うとともに、就農希望者に対してその技術習得から就農（農地・施設の確保など）までを切れ目なくサポートを行う技術力向上・就農研修拠点施設（トレーニングファーム）を整備する。	50,317 45,962				KPI①	いちご新品種導入やハウス内環境の見える化などに取り組み、収量10%向上を達成するいちご生産農家数（累計）	戸	0			2 ＋ 2 1 ＋ 1	4 ＋ 2 34 ＋ 33	6 ＋ 2 73 ＋ 39	8 ＋ 2 － －	10 ＋ 2 － －		＋ 10 ＋ 73	＋ 6 ＋ 73	①目標値を達成					③地方創生に効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
											KPI②	本事業を含む新規就農者確保・育成対策により確保した新規就農者数	人／年	103			180 ＋ 77 172 ＋ 69	180 ＋ 0 166 ▲ 6	180 ＋ 0 160 ▲ 6	180 ＋ 0 － －	180 ＋ 0 － －		＋ 77 ＋ 57	＋ 77 ＋ 57	②目標値の7割以上達成	③その他		JA・行政・生産部会等の合意形成、栽培・経営技術に係る指導者の設置、住居や農地の確保等、それぞれの地域で解決すべき課題が多く、新規就農者数は想定よりも伸び悩んだため。		
											KPI③	KPI②のうち、この研修拠点で研修し、佐賀に移住・定住し、就農する人（累計）	人	0			0 ＋ 0 0 ＋ 0	0 ＋ 0 0 ＋ 0	2 ＋ 2 3 ＋ 3	4 ＋ 2 － －	6 ＋ 2 － －		＋ 6 ＋ 3	＋ 2 ＋ 3	①目標値を達成						

地方創生拠点整備交付金事業の重要業績評価指標（KPI）の達成状況

no	総合戦略関連分野	認定地域再生計画の名称	計画期間	拠点整備交付金交付対象事業名	事業期間	事業概要	H28→H29 交付金額（千円）	H29→H30 交付金額（千円）	H30→H31 交付金額（千円）	R1→R2 交付金額（千円）
11	①・②	統合環境制御技術を導入した施設野菜産地の発展と人材育成プロジェクト	H30 | H34	統合環境制御技術を導入した技術力向上・就農研修拠点整備事業計画	H29 | H30	生産性革命と言える統合環境制御技術について県内に普及させる技術員の技術力向上を行うとともに、就農希望者に対してその技術習得から就農（農地・施設の確保など）までを切れ目なくサポートを行う技術力向上・就農研修拠点施設（トレーニングファーム）を整備する。	交付決定額 実績額	交付決定額 41,633 実績額 35,966	交付決定額 実績額	交付決定額 実績額
12	①	ICT・IoT等を活用した「佐賀牛」生産性革命プロジェクト	H30 | H34	ICT・IoT等を活用した「佐賀牛」の生産性向上技術研究拠点整備事業	H30 | H31	「佐賀牛」の生産基盤の強化を図るため、ICT・IoTツールを活用した誰にでも簡易にできる省力的な飼養管理技術等を新たに開発するための研究拠点となる施設を整備する。また、開発した技術を農業改良普及員や農業団体の技術員を通して生産現場に普及させることにより、肥育牛飼養農家が繁殖部門を導入して自ら肥育素牛を生産する繁殖肥育一貫経営の取組を進め、肥育素牛の安定確保による経営改善や牛のストレス軽減による肉質向上などを図り、農業所得の向上や地域における雇用の増大を実現させ、地域活性化につなげる。	交付決定額 実績額	交付決定額 223,901 実績額 223,901	交付決定額 実績額	交付決定額 実績額
13		イチゴの飛躍的生産性向上による活力ある佐賀の再興プロジェクト	H31 | H35	地域に所得を生み出すイチゴの生産性向上技術の確立とその技術を普及させる人材育成のための研究・研修施設整備事業	H30 | H31	炭素の安定同位体（13C）を用いて、イチゴの植物体内における光合成産物の転流・分配の状況を解析することにより、光合成産物を効率的に果実に転流させる環境条件を整える生産性向上技術を開発することとし、そのために必要となる13C分析室と実証ハウスを整備する。 また、産業廃棄物として処理することが必要となるハウス等から発生するイチゴ等の野菜の残さを堆肥化する処理施設も併せて整備し、環境負荷の軽減を図る。 さらに、開発された生産性向上技術を普及員やJAの指導員を通じて、あるいは生産者に直接普及させるため、各種研修会やセミナー等を実施する研修施設を整備する。	交付決定額 実績額	交付決定額 64,399 実績額 61,071	交付決定額 実績額	交付決定額 実績額
						地方創生拠点整備交付金　計	632,543 587,917	315,851 305,830	64,399 61,071	0 0

重要業績評価指標（KPI）

no	KPI	名称	単位	当初値（申請時）	2016年度（H28年度）（H29.3時点）目標値 実績値（H28増分）	2017年度（H29年度）（H30.3時点）目標値 実績値（H29増分）	2018年度（H30年度）（H31.3時点）目標値 実績値（H30増分）	2019年度（R元年度）（R2.3時点）目標値 実績値（R元増分）	2020年度（R2年度）（R3.3時点）目標値 実績値（R2増分）	2021年度（R3年度）（R4.3時点）目標値 実績値（R3増分）	2022年度（R4年度）（R5.3時点）目標値 実績値（R4増分）	2023年度（R5年度）（R6.3時点）目標値 実績値（R5増分）	増分の累計 目標値（増分累計） 実績値（増分累計）
11	KPI①	環境制御技術を導入し、収量を10%以上向上させるトマト生産者数（累計）	戸	0			0	0	5	7	8		
							＋0	＋0	＋5	＋2	＋1		＋8
							0	0	4	－	－		
							＋0	＋0	＋4	－	－		＋4
	KPI②	本事業を含む新規就農者確保・育成対策により、確保した新規就農者数	人/年	103			176	176	176	176	176		
							＋73	＋0	＋0	＋0	＋0		＋73
							172	166	160	－	－		
							＋69	▲6	▲6	－	－		＋57
	KPI③	KPI②のうち、この研修拠点で研修し、佐賀に移住・定住し、就農する人（累計）	人	0			0	0	2	4	6		
							＋0	＋0	＋2	＋2	＋2		＋6
							0	0	1	－	－		
							＋0	＋0	＋1	－	－		＋1
12	KPI①	佐賀牛の出荷頭数割合	%	58.40			58.40	61.00	64.00	67.00	70.00		
							＋0.00	＋2.60	＋3.00	＋3.00	＋3.00		＋11.60
							63.40	67.70	74.50	－	－		
							＋5.00	＋4.30	＋6.80	－	－		＋16.10
	KPI②	飼養管理に係る労働時間の短縮率	%	0.00			0.00	0.00	10.00	15.00	20.00		
							＋0.00	＋0.00	＋10.00	＋5.00	＋5.00		＋20.00
							0.00	0.00	12.10	－	－		
							＋0.00	＋0.00	＋12.10	－	－		＋12.10
	KPI③	肥育素牛の県内自給率	%	25.80			25.80	26.52	27.24	27.96	28.68		
							＋0.00	＋0.72	＋0.72	＋0.72	＋0.72		＋2.88
							28.60	29.20	29.60	－	－		
							＋2.80	＋0.60	＋0.40	－	－		＋3.80
13	KPI①	県内のイチゴの産出額	億円	74.3				74.3	80.7	87.9	96.9	106.8	
								＋0.0	＋6.4	＋7.2	＋9.0	＋9.9	＋32.5
								82.3	75.4	－	－	－	
								＋8.0	▲6.9	－	－	－	＋1.1
	KPI③	イチゴの単位面積当たり収量	kg/a	410				410	450	500	550	600	
								＋0	＋40	＋50	＋50	＋50	＋190
								440	416	－	－	－	
								＋30	▲24	－	－	－	＋6

達成度合い

no	KPI	事業開始から2020年度まで（事業開始から R2年度まで）（R3.3時点） 目標値（R2増分まで累計） 実績値（R2増分まで累計）	目標値（R2増分まで累計）に対する実績値（R2増分まで累計）の達成度合い	（目標値未達の場合のみ）目標未達理由	左で「①外的要因」を選択した場合、その内容	左の具体的な内容	地方創生への効果（自己評価）	今後の事業展開
11	KPI①	＋5	②目標値の7割以上達成	①外的要因	⑦その他	天候不順による生育不良や、病害虫の発生による減収等のため。	③地方創生に効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
	KPI②	＋73	②目標値の7割以上達成	③その他		JA・行政・生産部会等の合意形成、栽培・経営技術に係る指導者の設置、住居や農地の確保等、それぞれの地域で解決すべき課題が多く、新規就農者数は想定よりも伸び悩んだため。		
	KPI③	＋57	③目標値の5割以上達成	③その他		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、首都圏等における就農相談及び移住促進の活動が十分に出来なかったため。		
12	KPI①	＋11.60	①目標値を達成				①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
		＋16.10	①目標値を達成					
	KPI②	＋20.00	①目標値を達成					
		＋12.10	①目標値を達成					
	KPI③	＋2.88	①目標値を達成					
		＋3.80	①目標値を達成					
13	KPI①	＋32.5	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	④高齢化・人口減少	生産者の高齢化により戸数や面積が5%減少、単価の低下のため	②地方創生に相当程度効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
		＋1.1	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	①自然災害等	9月の台風襲来や10月の高温乾燥により初期生育が停滞したため		
	KPI③	＋190						
		＋6						

【事業効果（自己評価）】

①地方創生に非常に効果的であった	例）全てのKPIの目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合	3
②地方創生に相当程度効果があった	例）一部のKPIの目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合	4
③地方創生に効果があった	例）KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合	6
④地方創生に対して効果がなかった	例）KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い場合	0
		13

【今後の事業展開】

①事業の継続（計画通りに事業を継続する）	11
②事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる）	1
③事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う）	0
④事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する）	0
⑤事業の終了（当初予定通り事業を終了する）	1
	13